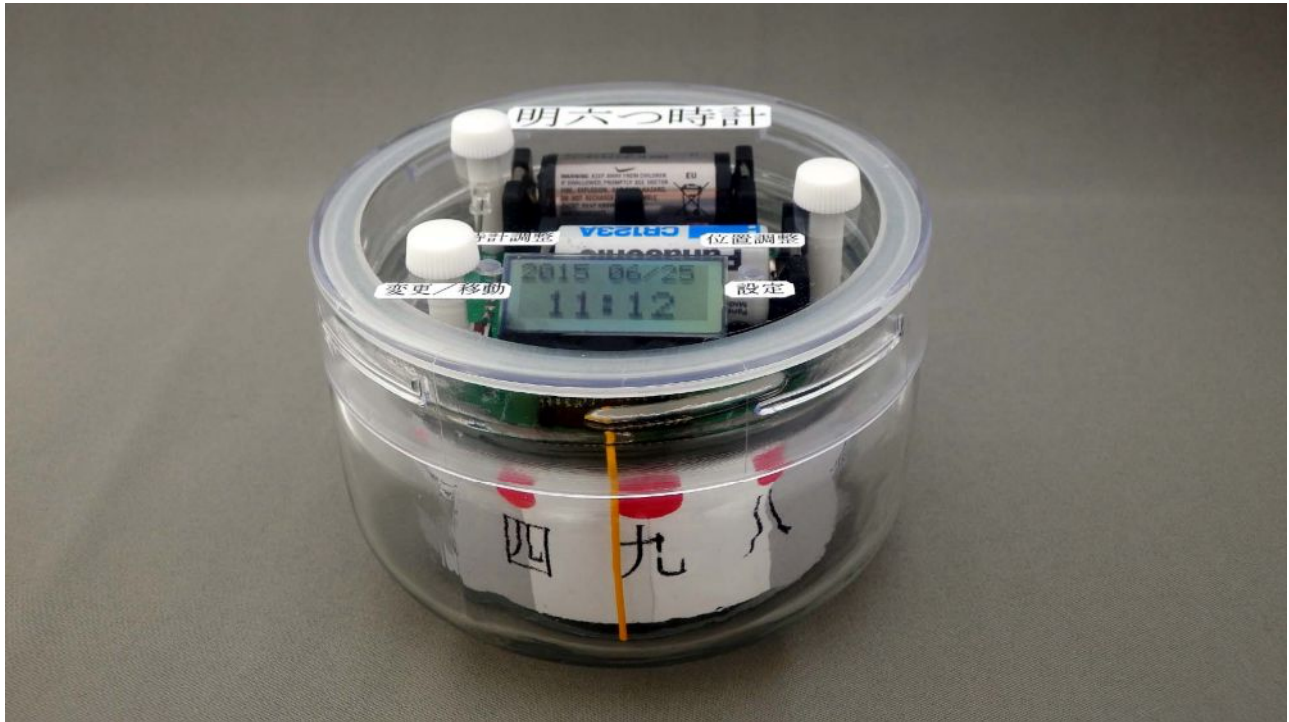




動作概要

R T Cから読み出された西暦に基づいて 江戸時代に使われていた時刻表示を行います。

- ・円筒形の江戸時刻表示板で1日を12に分けた時刻（四つ、八つとか）を表示します。
- ・L C Dに西暦の年月日時分を表示します。
- ・江戸時刻表示板の基準点調整機能が有ります。
- ・西暦の年月日調整機能が有ります。

電源ONの後 又はリセットスイッチをクリックした後は 時計微調整機能、基準点調整機能、西暦の年月日調整機能が動作します。

（R T Cの発振を確実にする為に 電源ONの後 改めてリセットスイッチを押してください）

調整後は何も操作せずに、時刻（江戸時刻、西暦共に）を表示します。

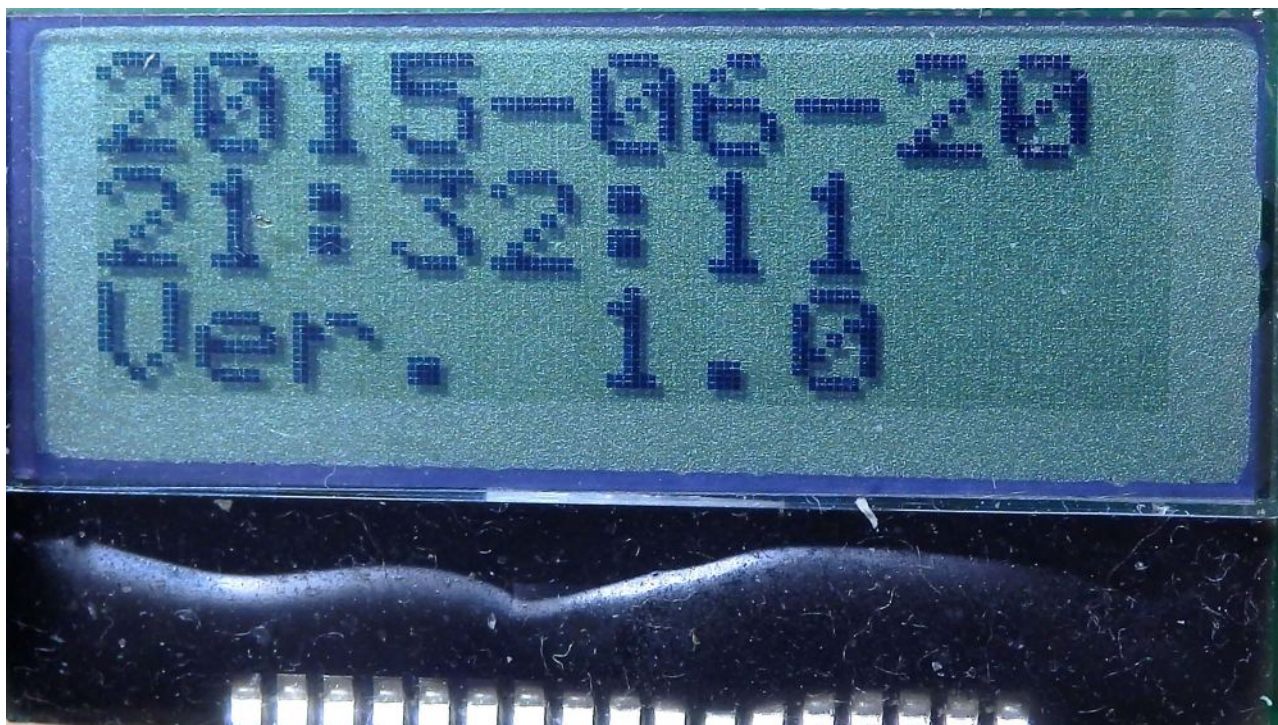
電池はC R 1 2 3 Aを2本使い、大体 1年間は連続で動作します。

江戸時刻の誤差は 機械的なガタ、狂い、ちょっとした見る位置の違い等を含め

10～15分はあると思われますが、江戸時代では それ程度の誤差で十分と思います。

※ 調整に使うスイッチは ふたに有る穴から爪楊枝などを使って押してください。

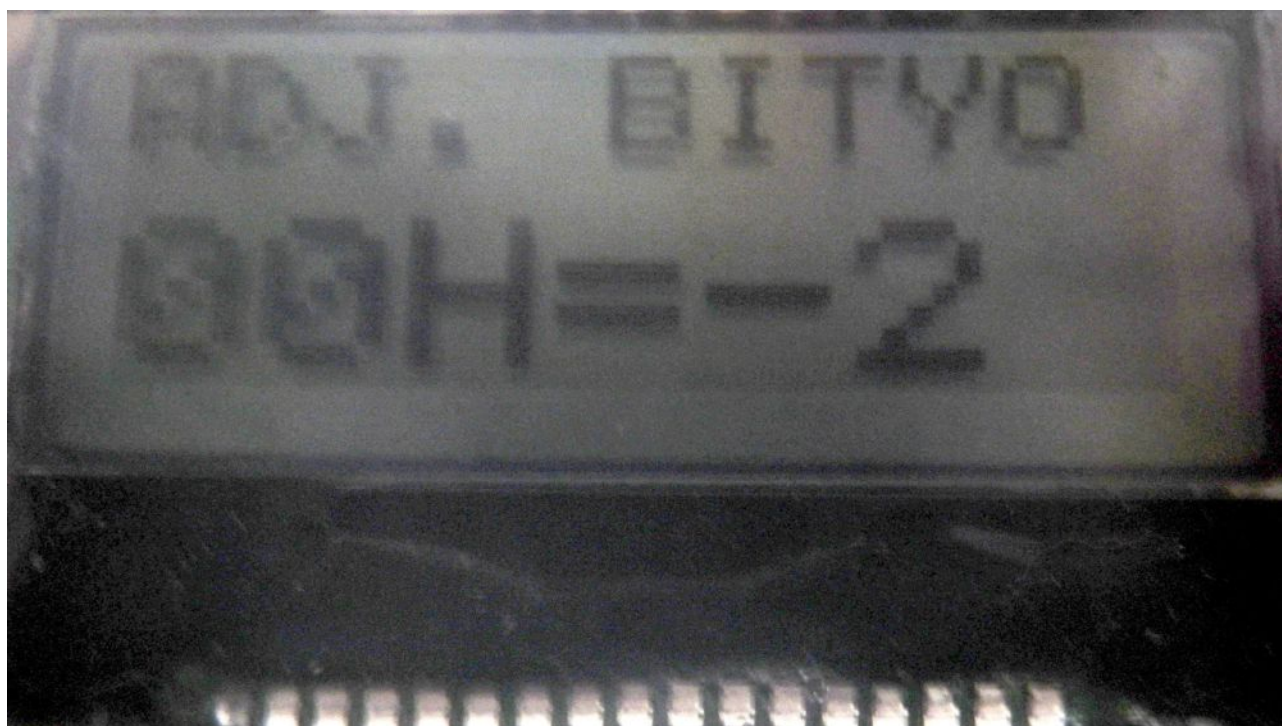
電源の後、又はリセットスイッチをクリックした時は
プログラムバージョンとプログラム作成日時の表示の後に
時計微調整機能と江戸時刻表示板の基準点調整機能と年月日時分調整機能が動きます。



プログラムバージョン、プログラム作成日時表示
(バージョン値、作成日時はプログラムにより違います)

1. 時計微調整機能

電源の後、又はリセットスイッチをクリックした時に 時計微調整機能が動作します。



00時から23時の03分の時に調整する秒数を設定します。
左側の変更スイッチをクリックすると -9秒から+9秒の値が変更できます。
プラス方向のみで、+9の次は-9になります。
右側のスイッチを短くクリックすると 次の時刻になります。
プラス方向のみで、23Hの次は00Hになります。
右側の設定スイッチを長くクリックすると この24個の値を保存して終了します。

2. 基準点調整機能

電源の後、リセットスイッチをクリックした時 又は右側の位置調整スイッチを押した時にこの基準点調整機能が動きます。



LCDに表示が出た後、左側の移動スイッチを押して 江戸時刻表示を明六つの位置にします。押し続けると速く回転します、その後、右側の設定スイッチを2秒以上押して離します。これで基準点が決まり、現在時刻の所まで 江戸時刻表示板が回転します。

3. 西暦の年月日時分調整機能

電源の後、リセットスイッチをクリックした時、左側の時計調整スイッチを押した時にこの時計調整機能が動きます。



年部分が点滅していますので違っていたら、左側の変更スイッチを押して正しい年にします。その後、右側の設定スイッチをクリックします。点滅が月の所になりますので月を合わせます。その後、右側の設定スイッチをクリックします。点滅が日の所になりますので日を合わせます。

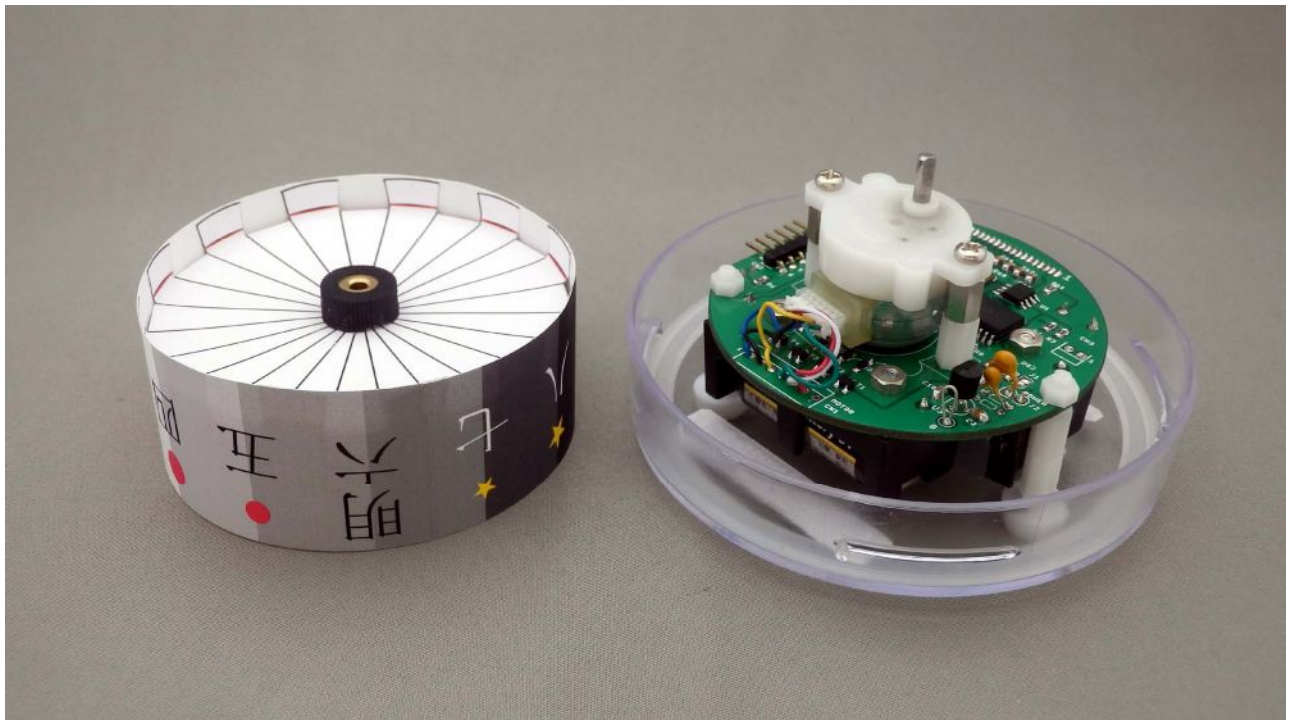
その後、右側の設定スイッチをクリックします。点滅が時の所になりますので時を合わせます。
その後、右側の設定スイッチをクリックします。点滅が分の所になりますので分を合わせます。
全て合わせ終わったら、右側の設定スイッチを2秒以上押して離します。
これで 時刻合わせが終わり、現在時刻の所まで 江戸時刻表示板が回転します。
※変更スイッチを押し続けると連続で値が速く変化します。

4. 電池交換

最初にふたを開け、

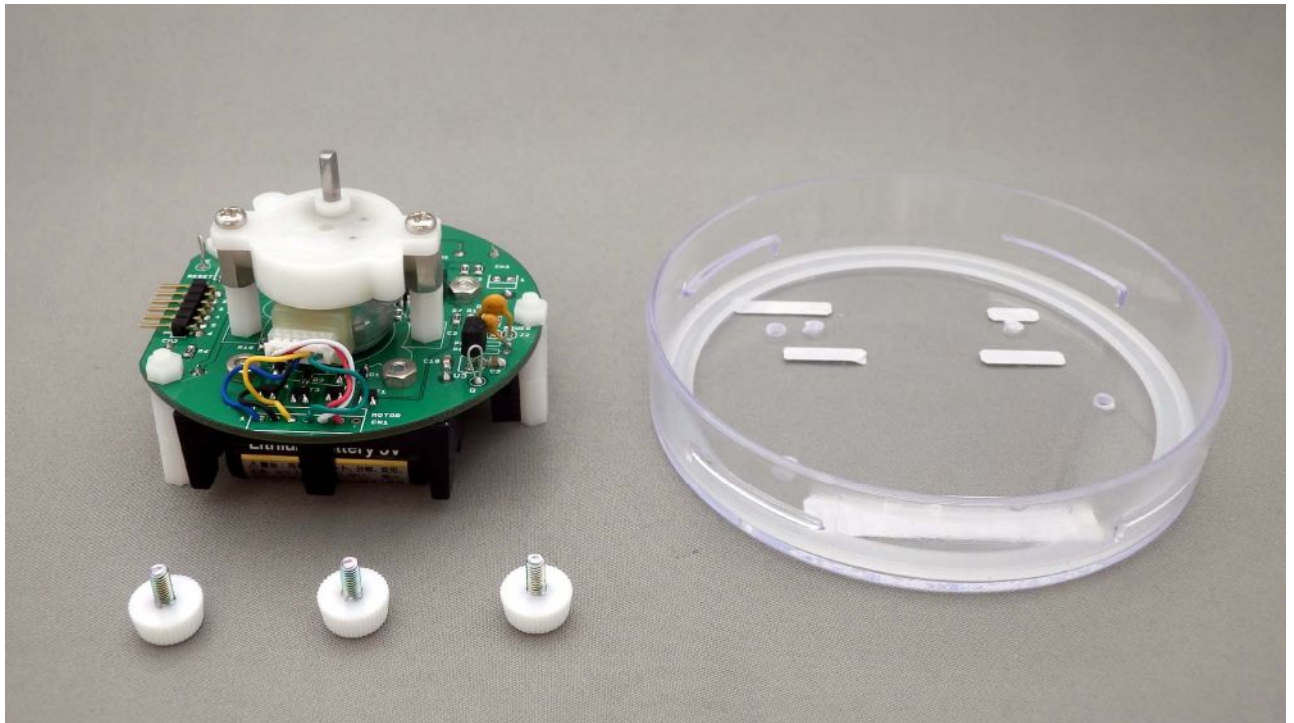


表示板を外した後、



表示板の外し方は 表示板の中心にある取付ボスの3Mホーローセット（イモネジ）を六角レンチでゆるめてから ボスを持って外します。

基板とふたを分離して、



基板の分離はふたの所の白いツマミのネジ3本を外すと分離できます。

電源をOFFにしてから 電池を交換します。



電源OFFはジャンパーピンを外すとOFFになります。
電池を入れ替える時はLCDに気をつけて、
LCDに力が掛からないようにして下さい。

交換後の電源ONはジャンパーピンを戻すとONします。
その後 リセットスイッチ(赤ボタン)を押します。
基板、表示板は外した時と逆の操作で 気をつけて取り付けます。

その後 ふたを閉めてから、基準点調整機能、西暦の年月日調整機能を使って
基準点、年月日を合わせてください

